

美和小学校 学校だより

美風



令和元年7月10日

美和小学校

平成31年度第4号
(通算277号)

野外活動

6月13日(木)～14日(金)に野外活動へ出かけました。5年生74人全員が元気にバスに乗り、二日間の美浜少年自然の家での野外活動がスタートしました。

～砂の造形～

天気もよく、澄み渡る青空の下、班の友達と協力しながら一つの作品を造りました。事前に計画した形になるよう意見を出し合いながら活動している姿が印象に残っています。また、実行委員が用意したさまざまな賞に入選するように全力で取り組むことができていました。どの班の作品も一人では造ることができない物ばかりでした。学年目標の「協和」を発揮することができた活動となりました。

～野外炊飯～

仲間といっしょに、一から手作りしたカレーライス。かまど係が火をおこし、調理係が材料を切り、協力して作りました。自分たちで作るとあらためておいしく感じました。たくさん活動したこともあり、みんな夢中になってカレーライスを食べていました。

～キャンプファイヤー～

満天の星空の下、パチパチと木の燃える音と子どもたちの楽しそうな声が響き渡るキャンプファイヤー。スタンツは、各クラスの男女の合計4チームで発表しました。自分たちで計画を立て、「どうすれば見ている人が楽しめるか」を話し合いながら準備してきました。スタンツでは一人一人のもつ「よさ」が発揮されていました。今年の火文字は「つなぐ」。5年生の学年通信のテーマです。友達と意思をつなぐことでより強い絆をつくってほしいという思いのつまった三文字はとても美しく、力強く燃えていました。



～常滑焼&散歩～

2日目はウォークラリー出発直前の雨により、急きょ常滑焼の一刀彫りを行いました。ウォークラリーに行けなかったことで落ち込んでいる子どもたちも多くいましたが、気持ちを切り替えて一生懸命一刀彫りに挑戦することができました。作品が届くのが待ち遠しいです。雨が上がったので、小野浦海岸まで歩くことにしました。一人一人が海に向かって将来の夢や願い事を叫びました。そして、「今日の日はさようなら」を全員で歌いました。ウォークラリーはできませんでしたが、貴重な体験となりました。

5年生は、次のステップへ向けて、この二日間での学びを糧としてさらに成長できるようにしていきます。野外活動で何ができるようになったのか、これからの課題は何か、5年生全員で振り返り考えていきたいと思えます。野外活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

【5年担任：丸山 朋生 坂田 未歩】

図書委員の活動



5年生9人、6年生8人で毎日交代で図書室の運営をしています。始業前、2時間目後の休み時間、昼休みの1日に3回、図書室を開放し、本の貸し出しや返却の手続きをしたり、本の整とんをしたりしています。6月には、年に1度の図書館祭りを行いました。全校のみんなに本を好きになってもらおうと、図書委員で意見を出し合い考えた企画です。図書委員おすすめの本に帯をつけて展示したり、本を借りた児童に

手作りのしおりをプレゼントしたりしました。毎日、たくさんの児童が図書室に来て、たくさんの本を読んでいました。本をたくさん読んだクラスを放送で発表し、教室に表彰状を届けます。

読書をすることで、感性を磨いたり、表現力を高めたりして、心を豊かにすることができます。図書館祭りを通して、多くの児童が心に残る本に出会えることを願っています。

【図書委員：富板 知香 加藤 千賀子】

美和小の安全教育

美和小学校では、安全に児童が学校生活を送れるよう安全教育に力を入れています。

教職員で組織している校内防災委員会では、地震災害を想定して話し合いを行い、「地震発生時に使えないかもしれない物や場所」「その時の避難方法」「それぞれがとるべき行動・役割」について意見を交わしました。この防災委員会を通して、教職員だけでなく、児童にも「自分の身は自分で守る」という力を身に付けさせたいという動きが広がりました。

6年生は学級指導で災害状況イメージトレーニングツールを活用した実践に取り組み、「冷静に判断することが一番大切だと思った」「日頃の備えを家族とももう一度話し合いたい」などの意見が出て、防災意識の高まりがみられました。



6月には、震度5の地震が観測された場合を想定した訓練を行いました。災害時に起こりうる様々な状況を考え、これまでの訓練とは形を変え、保護者が教室で児童を引き取って下校する方法を試みました。9月以降は、休み時間の地震発生を想定した訓練や防災体験を予定しており、さらに防災意識を高めていきます。

【校務主任：中野 倫子】

